

「コール・フロインデ」～母体は白百合コーラス～

コール・フロインデ 代表 島田 世津子

歴史は40年以上さかのぼります。まだ江戸川区に合唱団、合唱連盟はもちろん音楽協議会、江戸フィルもない頃、江戸川白百合幼稚園に行事のために花を添えるため白百合コーラスが誕生しました。これがコール・フロインデの母体です。指揮者の音楽の方向性がこの合唱団の特色になります。

ドイツで、バッハの聖地であるライプツィヒ聖トーマス教会のカントル(音楽監督)になるクルト・トーマスに音楽学や合唱指揮法を学んだH・J・コロイター氏がヒトラーの統治下でブラジルに亡命しました。そして、彼がドイツ(西洋)音楽を異国にもたらすことになりました。コロイター氏は後に来日し、ドイツゲーテインスティテュート(ドイツの文化を紹介する機関)の所長となり、我々は幸せにもその恩恵を受けることができました。



現在、コール・フロインデは常に前を向き、アカデミックなものに洋の東西を問わず挑戦しています。女性合唱ならではの、ひびき(倍音)のとり方、ハーモニー感等、常に高みをめざしています。昨年、はNコン課題曲を作曲した新進作曲家、大熊崇子さんの曲をとり上げました。

これからも、ルネッサンス、バロック音楽を中心に研鑽を積んでいきたいと思っています。

第41回江戸川区音楽祭予定

◆響け!江戸川のハーモニー

「第41回江戸川区音楽祭」

2020(令和2)年12月13日(日)

会場:江戸川区総合文化センター大ホール

※入場無料

詳しくは江戸川区音楽協議会のホームページをご覧ください。



●入場無料●

江戸川区音楽協議会とは

江戸川区における音楽文化の向上を図るため、各種音楽活動の振興と音楽家及び音楽団体の育成・支援を行うことを目標に1984年に発足しました。

年末を彩る区内最大の音楽イベントである「江戸川区音楽祭」や、前途有望な新人演奏家を広く発掘する「水と緑のまち 江戸川区新進音楽家コンクール」を江戸川区との共催で開催するなど、区民に音楽文化を広める活動を行っています。

事務局からの連絡

会員の皆さまへお願い。

昨年より音楽祭入場料無料化により会員のメリットであります「音楽祭無料」がなくなりましたが、江戸川区音楽振興のため趣旨ご理解のうえ会員勧誘をお願い申し上げます。所属団体のお友達に入会していただき協議会さらには江戸川区の音楽発展のためご助力をお願い申し上げます。

個人会員 1,500円

賛助 10,000円も承っております。

- 団体活動、コンサートのお知らせなどの情報を皆さまにお届していきます。ご意見やご要望がありましたら広報にお寄せください。

編集後記

《編集》高橋・吉野 《発行》江戸川区音楽協議会

江戸川区音楽協議会

江音協だより

第40号

2020年9月号

ご挨拶

江戸川区音楽協議会 会長 根本 秀樹



日頃は江戸川区音楽協議会の活動にご理解ご協力いただきまして誠にありがとうございます。

当協議会は「江戸川区に音楽文化を広める」を旗印に活動をしてまいりました。ここ数年はさらにそのレベルの向上に取り組んでおります。当協議会の自主事業はおもに3つあります。

「サロンコンサート」は近年「江戸川演奏家協会」のみなさまに積極的に取り組んでいただき、充実してまいりました。「水と緑のまち江戸川・新進音楽家コンクール」は4回目を迎え、受賞者のレベルの高さは目を見張るもの

があります。また、昨年よりジュニア部門を設け、区内の若い音楽家の啓発にも努めています。毎年12月に行っている「江戸川区音楽祭」も江戸川区総合文化センターとコラボレーションし、ロビーコンサートを始めさらなる充実を図ってまいりました。また、近年はコンクール受賞者にサロンコンサート、音楽祭等にもご主演いただき、各事業の連携を図って、益々のレベルアップをしていきたいと思っております。

それには協議会会員の皆さまをはじめ、区内在住の音楽専門家の皆さま、斉藤区長さまをはじめとする区行政の皆さまのお力をお借りしなくては成しえません。江戸川区音楽協議会はこれからも区民の目線、会員の目線に立ち江戸川区音楽文化の推進発展のために活動してまいります。今後とも江戸川区音楽協議会へのご理解ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

「チュニジア共和国と音楽交流を行いました」

東京2020オリンピック競技大会の事前キャンプにおける覚書を締結したチュニジア共和国から、音楽家のアミナ・スラルフィさんとハルーン・カルイさんが来日し、区内の小学校やオーケストラと音楽交流を行いました。



スラルフィさんの指揮



お二人と一緒にチュニジアの曲を合奏



チュニジアと日本の友好のかけはし

「音楽祭での初のコラボ演奏」

江戸川区少年少女合唱団 総務代表 用松 弥生

音楽祭の40周年記念に当たり演奏に何かひと工夫は出来ないかとの会長提案で、江戸川混声合唱団、合唱隊群星、少年少女合唱団の三団体のコラボレーションが実現、「ゆずの葉の木の下で」という組曲を演奏することになりました。

この曲は春に若葉がでた後、古い葉が若葉に命をゆずるように落葉するという歌詞で、親子の絆を描いています。年齢差の中でいかに演奏するかという難しさがありましたが、練習の成果を十分に発揮できました。これも演奏に協力下さった皆様と指揮者・鈴木先生の尽力の賜物です。団員に良い機会を頂きありがとうございました。



賜物です。団員に良い機会を頂きありがとうございました。

第40回 江戸川区音楽祭



江戸川区PTAコーラス



ムジカ・サンタンジェロ



スリッパジョーンズ・プラスアンサンプル



羽衣会



江戸川区音楽祭合唱団



江戸川区立南篠崎小学校三味線クラブ



琴麗会



エーデルワイスの会



江戸川ギター・マンドリンクラブ & ピッコリーニ♪ミュージックフレンズ



ロビーコンサート

「江戸川区立篠崎第五小学校」

篠崎第五小学校は開校43周年を迎えた自然豊かな学校です。篠五小の朝は音楽から始まります。

4～6年生の有志による吹奏楽部の活動を火曜日～金曜日の朝練習を中心に行っていて、管弦楽演奏会での発表、鼓笛隊に参加しています。

6年生になると鼓笛隊を結成します。児童朝会時の演奏や年2回の地域のお祭りに参加しています。全校児童で朝の学級の時間に今月の歌に親しみ、音楽を中心に豊かな感性をはぐくんでいます。



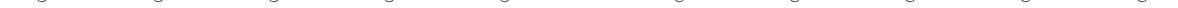
● 子供の感想 ●

まさか、私たちが音楽祭に出られるなんて思ってもいませんでした。

先生から「音楽祭に出られるよ！」と聞いた時、選ばれるなんて思ってもいなかったのととても驚きました。

練習の取り組みでは、今までの練習の取り組みより、より笑顔でまずは自分たちが演奏を楽しむことを大切に取り組みました。

本番では練習の時のように美しい音色で、笑顔や元気を忘れずに届けることができたように思います。出られてとてもよかったです。(S)



Special Players

水と緑のまち江戸川
新進音楽家コンクール
■ 受賞者 ■



ピアノ 菅谷 凜



ピアノ 京増 修史



ソプラノ 藤野 沙 優



ヴァイオリン ニ 上 りか子



ピアノ 赤塚由季/深野理江

